

異常な行動が記録されている事例(その3)(平成19年4月18日～5月31日に第一報報告のあったもの)

No.	識別番号	性別	年代	一日投与量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
1	B-07001354	女	10歳未満	120mg		異常行動	回復	インフルエンザA型治療のため、リン酸オセルタミビル投与開始。 服用開始2日目、酸素マスクをはずして、点滴のラインとカチャカチャぶつけていた。声を掛けると我に返った。ベッドの上に立ち上がった。声をかけても反応無し。手をベッドにぶつける。 服用開始から6日目、異常行動回復。
2	B-07001355	男	10歳代	150mg	プラノプロフェン 臭化水素酸デキストロメ ルファン ドンペリドン フマル酸クレマスチン	異常行動 幻覚	回復 回復	数日前から咽頭痛あり、朝から38.3℃の発熱を訴え受診。B型インフルエンザ陽性のため、リン酸オセルタミビル処方。本剤2回服用4時間後に就寝。翌日未明、両親の寝室にばたばたと入ってきて、「死ぬとこだった」とおびえた表情をしたので、両親は寝かせつけた。その朝、患児を観察すると、擦り傷、両下肢の付着物、両足底の汚れあり。事情をきくと、何かに追いかけるような怖い夢を見ていたような恐ろしい思いをした後、自分が窓枠にぶら下がり、両足をコンクリート壁の突き出し部分に乗せているのに気づき、よじ登って部屋に入ったとのこと。部屋を確認すると、窓が開いている、足跡がついている等の形跡あり。
3	B-07001356	男	10歳代	150mg		異常行動	回復	インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル投与開始。服用3日目、服用後に患者が異常に本剤を欲しがり、母親の首を絞めるなどの異常行動あり。翌日、異常行動回復。
4	B-07001361	女	10歳代	150mg		異常行動	軽快	インフルエンザB型治療のため、リン酸オセルタミビル処方。服用2回目で突然立ち上がり、廊下に飛び出す。わけのわからない事を叫び、暴れる(約3分間1回きり)。家族がおさえつけて制止した。 服用開始5日目、服用終了。
5	B-07001523	男性	10歳代	150 mg	アセトアミノフェン 塩酸アンブロキシソール 塩酸シプロヘプタジン 塩酸ホミノベン	異常行動	回復	数日前より症状あり、一般用の感冒剤を服用。 翌日、発疹あり受診。インフルエンザA型陽性のため、リン酸オセルタミビル処方。1回目服用1時間後、両上肢拳上、訳のわからないことを言いながら、こたつの周囲を10回ほど回った。その後紙製のふたをにぎりしめていた。このため救急車で来院。怒りっぽく荒々しい言動であった。CT異常なし。眠気あり。 その翌日午後、意識清明となる。
6	B-07001666	男性	30歳代	150 mg	アモキシシリン	異常行動	回復	インフルエンザに対して、リン酸オセルタミビル処方。服用3日目、目がうつろ、家族の言葉を聞いていない等の異常行動が出現。服用4日目、突然包丁を持ち出したり、道路の車の前に飛び出したりした。服用5日目、本剤服用中止。中止1日後、意識清明。

異常な行動が記録されている事例(その3)(平成19年4月18日～5月31日に第一報報告のあったもの)

No.	識別番号	性別	年代	一日投与量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
7	B-07001668	男性	10歳代	150 mg	アセトアミノフェン	幻覚 異常行動	回復 回復	発熱39.1℃。検査にてインフルエンザB型陽性のため、リン酸オセルタミビル5日分処方。同日昼、夜と本剤2回服用。 翌日未明、就寝していた患者が急に起き上がり、部屋をかけ回る、たんすを開ける、友達がいると言い、友達の名を大声で叫ぶなどの行動をとる。家族が気づきおさえる。数分で落ち着いた。39.9℃と高熱。同日朝、意識清明であるが、異常行動時の記憶はなし。本剤服用中止。その後、異常なし。
8	B-07001670	女性	10歳代	75 mg	アセトアミノフェン	大発作痙攣	回復	39.2℃の発熱を主訴に初診。インフルエンザB型の診断にて、リン酸オセルタミビル処方。同日夜、風呂場に行き、浴槽で頭を打ちつける異常行動を発現。出血(少量)あり。失禁あり。意識清明まで5、6分。その後、強直発作10秒認める。発熱は一度37℃台に戻るが、再び38℃台に上昇。その後、就寝。深夜、トイレに行ったときに脱力し、意識消失。約1分後に回復したが、その後10分程度ボーっとした状態であった。その後、通常に戻り就寝。徐々に平熱となった。
9	B-07002051	男性	10歳未満	120 mg	クエン酸モサプリド ヒベンズ酸チペピジン 塩酸シプロヘパタジン 塩酸アンブロキシソール アセトアミノフェン	異常行動	軽快	インフルエンザA型の診断にて、リン酸オセルタミビル処方。同日昼前、服用し、4時間後、ベッド上で暴れ、奇声をあげる。母が抑制し、10分程度で暴れなくなった。同日夕方、再診し、診察上言動やや不安定だが指示には従う。名前、年齢は答えられるが、「どこにきているか」の問いかけには「わからない」と答えるといった軽度の失見当識を認めた。神経学的異常所見を認めず(meningeal signs(-))。同日夜間、最高40℃まで発熱するもせん妄、異常行動認めず、入眠した。 翌朝、体温37℃台まで解熱。易疲労訴えあるが、その他、異常は認めなかったとのこと。
10	B-07002055	男性	10歳代	75 mg		異常行動	回復	シーズン前にインフルエンザ予防接種2回施行。 気分が悪いと訴えあり。体温38.4℃。インフルエンザ検査陰性であったが、インフルエンザの可能性高いからと、リン酸オセルタミビル処方。服用3～4時間後の早朝、「友達がベランダから落ちた」と発言。表情もおかしかった。問いかけに答えられず。そのまま睡眠した。同日夕方、ウーと声が聞こえたので、急いで行ったら、自分の頭を殴っていた。その後「人を殺した」と発言。本剤中止。暫くして意識清明となる。 翌日未明、気分が悪いと訴え、リビングを駆けずり回り、「死にたい」と連呼。救急車要請。救急隊到着時、ぼーっとしている感じではあったが、名前は言えた。入院後、補液。その間異常行動なし。意識清明。顔には自分でひっかいた、ひっかき傷目立つ。唇もかんでいるようで、出血あり。本剤内服せず様子見とした。翌日、解熱し、異常行動もみられず退院。 2週間の間隔をあけて測定したが、インフルエンザに対する抗体価の上昇なし。

異常な行動が記録されている事例(その3)(平成19年4月18日～5月31日に第一報報告のあったもの)

No.	識別番号	性別	年代	一日投与量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
11	B-07002056	男性	10歳未満	75 mg		異常行動	回復	38.2℃の発熱。 翌日、リン酸オセルタミビル処方。同日夜、本剤服用。翌深夜(服用6時間後)、起きだし、2階の階段を下りようとし、その際母親を跳ね飛ばし、母親が階段から落ち、骨折。異常行動発現。その後、父親に抱きつき、眠った。 服用開始3日目、熱も下がり、普通に戻った。異常行動回復。
12	B-07002193	女性	10歳代	75 mg		異常行動	軽快	インフルエンザB型治療のため、リン酸オセルタミビル服用。服用2時間半後、目の焦点が合わない、叫び声をあげる、壁に頭を打ちつけるという異常行動あり。すぐに再来院。再来院時は意識清明、採血結果も異常なし。異常行動時、本人はかすかに記憶あるも、頭を打ち続けることを止めることができず怖かったとのこと。1回内服のみで中止し、その後、異常行動を認めていない。
13	B-07002664	男性	10歳代	150 mg	アセトアミノフェン 鎮咳配合剤(1) 塩化リゾチーム d-マレイン酸クロルフェニ ラミン	錯乱状態 強迫性障害 うつ病	回復 未回復 未回復	インフルエンザB型の診断にて、リン酸オセルタミビル処方。昼前に本剤服用。夕方、解熱。同日夕方、2回目服用後に就寝。就寝1時間後、起きた時に錯乱状態になり、家族が押さえつける。症状は約30分間続き、回復。投与中止。 投与中止1日後、朝、37.3℃。起床後すぐに「手洗い」を始め、その後もずっと手を洗い続け、1日に30回以上「手洗い」をするようになるといった強迫神経症、うつ病が発現。インフルエンザは軽快。投与中止4日後、1日に60回以上「手洗い」し、周りの物に触れようとしなくなる。 メンタルクリニックにて洗浄強迫障害と診断される。投薬されるも症状改善なく、1日に7～8回入浴する状態となる。食欲も著しく低下。 投与中止21日後、ロープで首吊り自殺しようとする。その後も自殺願望さらに強くなる。 投与中止55日後、夜、突然顔面より上半分に筋肉の強張出現。救急受診し、筋弛緩剤投与され改善。その後も自宅で療養中。
14	B-07002856	男性	10歳代	不明		異常行動	<記載なし>	リン酸オセルタミビル服用2時間後、寝ていたが、笑って起きだし廊下を走り出した。「どうしてかわからないが、笑いたくなったり、走りたくなった」と本人が説明。
15	B-07002858	男性	10歳未満	120mg		異常行動	不明	夕方、リン酸オセルタミビル服用。服用後、嘔吐発現。 深夜、本剤服用。服用後、ばたばた暴れだし、大きな声を上げながら部屋から飛び出す行動といった異常行動発現。 投与開始2日目、朝、服用後、頭痛、異常行動あり。

異常な行動が記録されている事例(その3)(平成19年4月18日~5月31日に第一報報告のあったもの)

No.	識別番号	性別	年代	一日投与量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
16	B-07002997	女性	10歳代	150 mg	ドンペリドン d-マレイン酸クロルフェニ ラミン 酪酸菌製剤	痙攣 大発作痙攣	回復 回復	3年前、A型インフルエンザにてリン酸オセルタミビル服用あり。副作用なし。 38.5℃。B型インフルエンザの診断にて、リン酸オセルタミビル処方。帰宅後、本剤服用。この時体温40℃。昼、異常なし。夜、2階から1階に下りようとして「こわい、こわい」とさけび出し、両手を広げパンパン壁をたたき、その後、けいれんを1分間起こした。5分後、会話ができるようになったが、「こわい、こわい」と言っていた。けいれん時:35.5℃と解熱。本剤、夜は睡眠中であったため、服用せず。 投与開始2日目、朝、本剤服用中止するも、夜は服用。 投与開始3日目、朝、夕本剤服用。
17	B-07003018	男性	10歳代	52.5mg	トラネキサム酸 フマル酸クレマスチン アセトアミノフェン 塩酸ツロブテロール カルボシステイン	異常行動	回復	インフルエンザに対して、リン酸オセルタミビル服用開始。夕方、本剤服用1時間後、突然起きて、「早く早く」とつぶやき、外に出ようとした。また、ニヤリと笑っていた。その後も、家の中をふらふらとしていた。本剤は1回で中止し、翌朝まで就寝。 翌日、異常行動回復。本人に聞いたところ、前日のことは覚えなし。
18	B-07003175	男性	10歳未 満	127.8mg	アセトアミノフェン アセトアミノフェン	異常行動 異常行動 異常行動	回復 回復 回復	インフルエンザA型の診断にてリン酸オセルタミビル処方。本剤1回目服用後、就寝。夕方、本剤2回目服用。布団から急に立ち上がりカニのように歩き回る。カーテンを開けて外を見、痙攣し倒れた。 投与開始2日目、一時入院。入院中も本剤継続。 投与開始3日目、4日目、「死にたい」との発現あり。 投与開始5日目、本剤服用中止。
19	B-07003186	女性	20歳代	150 mg		異常行動 感情不安定	回復 回復	インフルエンザB型と診断され、リン酸オセルタミビル服用開始。服用後、熱がさがった。 投与開始2日目、元気になった。夜、異常行動、感情失禁発現。吐き気あり。気分が高揚し、走り出した気分となり、何をみても笑いが止まらない状態となった。自制しようとする意識もあるが、走り出したい自分を止められず、家族に助けを求める。発現1時間後、大声で笑いが止まらない。そのうち笑いが止まらないことに対して泣き出す。見当識障害多少あり。 投与開始3日目、朝、ほぼ元通りの人格に戻った。

異常な行動が記録されている事例(その3)(平成19年4月18日～5月31日に第一報報告のあったもの)

No.	識別番号	性別	年代	一日投与量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
20	B-07003477	男性	20歳代	75 mg	塩酸アンプロキソール 塩酸セフカペンピボキシル レバミピド アセトアミノフェン 塩酸モサプラミン リスベリドン 塩酸ピペリデン クロルプロマジン・プロメ ジン配合剤(1) ニトラゼパム カルバマゼピン フルニトラゼパム	異常行動	不明	A型インフルエンザと診断され、塩酸アマンタジン、カルボシステイン、塩酸セフカペンピボキシル、レバミピド、アセトアミノフェン(頓用)処方。精神病薬を服用している。塩酸アマンタジンからリン酸オセルタミビルに変更。帰宅し本剤服用後、自宅マンション6階から飛び降りる。患者は一命を取り留めるが、現在身体障害者となっている。 なお、患者はもともと熱を出すとフラフラする体質で、異常行動を起こす前にもめまい等起こしている。 (2004年の症例)
21	B-07003581	男性	10歳代	63.9mg	テオフィリン 塩酸クレンブテロール リン酸ジメモルファン 塩酸アンプロキソール フマル酸クレマスチン モンテルカストナトリウム プロピオン酸ベクロメタゾン クロモグリク酸ナトリウム 塩酸プロカテロール アセトアミノフェン	異常行動	回復	インフルエンザに対して、リン酸オセルタミビル服用。その後寝かせたが、1～2時間してから起きてきて友達の家遊びに行くと言い出し、無理に外出しようとした。抑えて寝かせつけた。その後はニコニコと笑っていて手足がピクピクと動いていた。しばらくすると治まり、その後服用は中止。 以後、異常行動はみられていない。 本人も記憶にないとのこと。
22	B-07003582	女性	10歳未 満	90 mg	カルボシステイン リン酸ジメモルファン 塩酸シプロヘプタジン	異常行動	回復	インフルエンザA型の診断にてリン酸オセルタミビル処方。1回目服用1時間後、突然2階に走っていき、部屋をウロウロする。翌朝までずっとウトウトしていた。夜、2回目服用。夜間、犬を呼ぶ動作、物を食べる動作、家の中を徘徊、手を何回も洗う、尿失禁等がみられた。 翌朝、40℃の発熱。朝からボーッとしており、呼びかけへの反応も乏しい状態が続くため、受診。精査加療目的に入院。脳波上、全般性の徐波を認め、MRI所見なし。髄液所見なし。脳症の可能性を考え、メチルプレドニゾン投与を施行。 翌日、意識清明となり経過良好。

異常な行動が記録されている事例(その3)(平成19年4月18日～5月31日に第一報報告のあったもの)

No.	識別番号	性別	年代	一日投与量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
23	B-07003786	男性	10歳代	150 mg	塩酸セフカペンピボキシル 塩化リゾチーム アセトアミノフェン リン酸ジメモルファン	異常行動	回復	リン酸オセルタミビル服用開始。臥床していたが、飛び起きて走り出した。記憶なし。家族が抱きとめた。 投与開始3日目、インフルエンザ確定診断実施し、B型と診断。本剤投与中止。
24	B-07003912	男性	10歳代	75 mg	葛根湯 アセトアミノフェン	衝動制御障害	回復	インフルエンザA型の診断にて、リン酸オセルタミビル処方。夕方より、本剤服用開始。発熱もおさまっていないのに、とにかく走りたくてしかたがない気分となり、家を飛び出して20分程度ランニングして帰宅。止めることのできない行動であった。 投与開始4日目、熱も下がり、明らかなインフルエンザ症状は改善したにもかかわらず、食欲は極めてあるのに約10日間学校に行くことができない、寝ていなくてはならないしんどさが続いた。 投与開始5日目、朝、本剤服用後、服用終了。 投与中止7日後、しんどさは回復。
25	B-07004039	男性	10歳代	150 mg	フマル酸クレマスチン ヒベンズ酸チペピジン アセトアミノフェン	譫妄	回復	B型インフルエンザ発症し、リン酸オセルタミビル服用開始。 投与開始2日目、朝、2階で寝ていたが、急に起きてきて階段(屋内)の途中から飛び降り、部屋の障子を倒して外へ出て行こうとした。家族が制止し、30分後、我にかえた。39°C台の発熱あり。患者によると、悪い夢を見て、何かに追いかけていたような気がしたそうであるが、階段を飛び降りたり障子を倒したりしたこと等は何も覚えていなかった。
26	B-07004079	男性	10歳代	不明	アセトアミノフェン	異常行動	回復	インフルエンザA型治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。夜、突然動き回り、ドアやベランダから外に出ようとする。本人に「どうしたのか」と尋ねると「大丈夫」としっかりした口調で答えるし、意識もはっきりしているが、どうしても外に出ようとする。マンション5Fのベランダに出た時は飛び降りようとしたので、母親が必死に止めたので事なきを得たが、その時も口では「大丈夫」と言っていた。翌日、異常行動回復。

異常な行動が記録されている事例（インフルエンザウイルス感染の有無）

No.	識別番号	感染
1	B-07001354	○
2	B-07001355	○
3	B-07001356	○
4	B-07001361	○
5	B-07001523	○
6	B-07001666	不明
7	B-07001668	○
8	B-07001670	○
9	B-07002051	○
10	B-07002055	×
11	B-07002056	○
12	B-07002193	○
13	B-07002664	○
14	B-07002856	不明
15	B-07002858	不明
16	B-07002997	○
17	B-07003018	不明
18	B-07003175	○
19	B-07003186	○
20	B-07003477	○
21	B-07003581	不明
22	B-07003582	○
23	B-07003786	○
24	B-07003912	○
25	B-07004039	○
26	B-07004079	○

○：インフルエンザウイルスの感染が明確なもの
20例

×：インフルエンザウイルスに感染していないもの
1例

不明：検査が実施されていないもの等
5例

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例(その2)(平成19年3月21日~4月17日に第一報報告のあったもの)

No.	識別番号	性別	年代	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
1	B-06026127	女性	60歳代	150mg		意識消失	回復	夜、本剤服用後、医院から帰る途中、車にて事故を起こした。意識消失発現。来院し、体温36.2℃。事故について、意識がなかったことを聞く。CT異常なし。意識消失回復。
2	B-06026128	男性	10歳代	75mg		幻覚 妄想 異常行動	回復 回復 回復	インフルエンザA治療の為、本剤の投与開始。幻覚、妄想、異常行動発現。
3	B-06026131	男性	10歳代	不明		異常行動	回復	リン酸オセルタミビル1回服用。10時間後、5分くらい変なこと(「ぼくの首がここに見える」「お父さんお母さん戦って勝った、やったー」「うろこが見える」など)を喋った。
4	B-06026181	女性	30歳代	150mg	アセトアミノフェン	異常行動 幻覚 幻聴	軽快 軽快 軽快	インフルエンザB型のため、リン酸オセルタミビル150mg/日投与開始。39℃台発熱時、本剤内服後、幻覚、幻聴、異常行動発現。翌日、本剤中止、入院。
5	B-06026529	女性	10歳未満	75mg		意識レベルの低下 大発作痙攣	回復 回復	リン酸オセルタミビル75mg内服10分後、嘔吐し、その後焦点合わず氷をいじったり、靴下をいじったりして呼びかけに答えなくなり、眼球上点、全身強直間代性けいれんとなった。けいれんが止まった後も、呼びかけに応えずに四肢を動かす意識障害が持続し、当院搬送。3時間後には意識清明になった。
6	B-06026622	女性	10歳代	75mg	ヒベンズ酸チペピジン カルボシステイン 塩酸プロメタジン トラネキサム酸	意識消失	回復	リン酸オセルタミビル服用10時間後、体に力が入らず脱力状態。母が階段の上方から両腕をかかえ、家族が階段の下方から両足を持って運んでいた。開眼していたが、昇る途中、呼名に反応しない意識消失状態が1分間あり、家族は1分ほど両足の硬直を感じた。その後硬直は消失し、呼名に開眼する状態となり救急車で当院来院した。本人は階段昇っている途中より、家に救急隊が到着するまでの間は覚えていない。
7	B-06026623	男性	10歳未満	27mg		幻覚	回復	インフルエンザに対し、リン酸オセルタミビル27mg内服。遠くを見つめ、おぼけが出る等の症状を訴えたため、本剤中止。
8	B-06026807	女性	40歳代	150mg		痙攣	軽快	インフルエンザA型に対して、リン酸オセルタミビル投与開始。意識障害、痙攣発現。意識障害で倒れ、顔を打った。本剤投与中止。
9	B-06026808	女性	10歳未満	不明		異常行動	軽快	服用後5時間、異常言動発現。再来院し、入院。脳波及びCT検査での異常はなし。
10	B-06026846	男性	10歳未満	60mg	臭化水素酸デキストロメトル ファン アセトアミノフェン	異常行動 痙攣	回復 軽快	インフルエンザA確定。服用30分後に奇声を発するも押さえつけ入眠。けいれん発現。入院目的に搬送時、意識クリアーになる。
11	B-06026849	男性	10歳未満	60mg	アセトアミノフェン	異常行動	回復	インフルエンザの診断なし。リン酸オセルタミビル60mg1回服用。40分就寝した後、布団を蹴飛ばし「怖い」と叫び、視点が定まらず、母がつかまえていた。インフルエンザ迅速検査陰性、咽頭粘液、血液でのインフルエンザウイルス同定(PCR)陰性。